

県外派遣報告書

審判員名	田村さゆり	所属	クラブ連盟
大会名	第三回東日本バスケットボール大会		
期間	平成28年5月4日～5月5日		
会場	ALSOK群馬アリーナ		
スケジュール			
期 日	内 容		場 所
5月4日	一般男子、女子、シニア、スーパーシニア担当		ALSOK群馬アリーナ
5月5日	一般男子、女子、シニア、スーパーシニア担当		ALSOK群馬アリーナ
実技			
担当試合	期 日	5月4日	一般女子
	対戦カード	U.T.U VS ESTREALA	主審 副審
	相手審判	深谷結(茨城)	
ミーティング内容		主任	
<p>・第1ピリオドより大きく点差が離れ、1ゲームを通してU.T.Uの圧勝で終わったゲームだった。その中で、特にESTREALAのトラヴェリングをどこで取り上げるかがひとつのポイントだった。シュートに繋がるヴァイオレイション以外は取り上げない方が良かったのではないかと感じた。(群馬県・加藤氏)</p> <p>・リードレフリーの際、エリア5と6の間で行われたショットのプレイに対して、もう少し右に動いて見に行った方が良い。(埼玉県・大纏氏)</p>			
担当試合	期 日	5月4日	一般女子
	対戦カード	ESTREALA VS Rouge	主審 副審
	相手審判	加藤涼子(群馬)	
ミーティング内容		主任	
<p>・1ゲームを通してゆっくりとしたゲームだったため、課題等を確認出来るゲームだった。プレイヤーが楽しそうにプレイをしており、良かった。(群馬県・加藤氏)</p>			

担当試合	期 日	5月5日	一般女子順位決定リーグ	
	対戦カード	Rouge	VS	RESISTANSE
	相手審判	加藤涼子(群馬)		

ミーティング内容 主任

・1ゲーム通して、トラヴェリングの判定をもう少ししっかりしてほしい。ボールをもらう際のステップでトラヴェリングをしているのにヴァイオレーションが鳴らず、そのままプレイが続いてしまったため、もう少ししっかりと見た方がよい。特にリードレフリーの際、センター同士のプレイに対して、もっと整理した方が良かった。また、トレイルレフリーでリバウンドプレイを見る際、次のプレイに備えるために体の向きがプレイとは反対の方向に向いているため、もう少し体を残して見た方がよい。
 ・リードレフリーの際、トレイルレフリーと同じことをしている＝ボールを追っている。オフボールのプレイをしっかりと見ること。(山梨県・河野氏)

担当試合	期 日	5月5日	一般女子順位決定リーグ	
	対戦カード	群馬町クラブ	VS	Rouge
	相手審判	日向 美奈(山梨)		

ミーティング内容 主任

・オフボールを意識していたのがわかる。前のゲームよりも良くなった。この意識や動きを引き続き続けていくことが大切。また、トレイルレフリーでエリア2・3のプレイを見る際、ペネトレイトしているのは良いが、時々行き過ぎているところがある。まずは、リードレフリーの見方について意識してほしいが、今後はトレイルレフリーの動きに関しても研究していくと良い。(山梨県・河野氏)

全体の感想

県外でのレフリーは初めてだったが、多くの県の方と交流することが出来、とても良い機会になった。様々な考えや経験を持っている方と接したことで、さらにモチベーションを上げることが出来た。今後またこのような機会をいただくことが出来るよう、精進していきたい。
 レフリーに関しては、特に2日目のレフリーで、山梨県の河野氏より1試合目と2試合目でリードレフリーの見方についての講評をいただき、「良くなった」という講評をいただくことが出来た。今後のレフリー活動でも意識し、さらに良い見方・判定に繋がるようにしたいと思う。